
大阪市

こども・子育て支援に関するニーズ調査

報 告 書

平成31年(2019年)3月

大 阪 市

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的	1
2 調査方法と回収状況	1
3 報告書の見方	1
第2章 就学前児童用調査の結果	2
I. 回答家庭のプロフィール	2
1 居住区 [問1]	2
2 こどもの年齢 [問3]	3
3 回答者 [問2]	3
4 世帯のこどもの人数・末子の年齢 [問4]	4
5 家族との同居・近居の状況 [問5]	5
6 あて名のこどもの子育てや教育を主にしている人 [問6]	6
II. こどもの育ちをめぐる環境について	7
1 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人の状況	7
2 子育てや教育についての相談先	10
III. 保護者の就労状況について	12
1 就労状況.....	12
2 週当たりの就労日数・1日当たりの就労時間	14
3 就労する保護者が家を出る時間及び帰宅時間	17
4 パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望	19
5 就労していない保護者の就労希望	20
IV. 平日（月曜日から金曜日）における定期的な幼稚園や保育所などの利用について.....	24
1 幼稚園や保育所、認定こども園などのこどもを預かる施設やサービスの平日での定期的な利用状況	24
2 幼稚園や保育所、認定こども園などのこどもを預かる施設やサービスの平日の定期的な利用希望	34
3 幼稚園の強い利用希望の有無	35
4 幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日、長期休業中の利用希望.....	36
V. こどもが病気になったときの対応について	44
1 この1年間にこどもが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかったことの有無	44
2 こどもが病気で幼稚園や保育所などを利用できなかった場合の対処方法.....	45
VI. 幼稚園や保育所などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について.....	54
1 こどもを預かるサービスの不定期な利用状況	54
2 一時預かりの利用希望	59
3 こどもを泊りがけで預かるサービスの利用状況	65
VII. 地域の子育て支援サービスの利用等について	71
1 地域子育て支援拠点事業などの利用状況・利用希望	71
2 利用者支援専門員の認知・利用状況・利用希望	75

3	市が実施する子育て支援サービスなどの認知・利用状況・利用希望	77
VIII.	4歳以上のこどもの小学校就学後の放課後の過ごし方について	85
1	こどもが小学校低学年の間に、放課後過ごさせたい場所	85
2	児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）・留守家庭児童対策事業（学童保育）の土曜日、日曜日・祝日の利用希望	89
3	児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）・留守家庭児童対策事業（学童保育）の長期休業期間中の利用希望	95
IX.	子育てを支援する生活環境の整備について	99
1	こどもとの外出時に困ること	99
2	こどもの遊び場に関する満足度	101
3	こどもの遊び場に日頃不満に感じる事	102
X.	子育てに対する意識や仕事と子育ての両立について	104
1	子育ての楽しさや負担感の程度	104
2	子育てに関する悩みや気になること	108
3	子育てに対する地域の人や社会からの支えへの評価	111
4	育児休業の取得状況	114
5	育児休業後の職場復帰状況	116
6	育児休業の取得期間	117
7	3歳までの制度があった場合に希望する取得期間	119
8	希望の時期に職場復帰しなかった理由	120
9	育児休業を取らなかった理由	122
10	こどもと一緒に過ごす時間	124
11	1日当たりの家事時間	126
12	仕事と子育てを両立させる上で大変なこと	128
13	市・区に対して充実してほしい子育て支援サービス	130
第3章	就学児童用調査の結果	133
I.	回答家庭のプロフィール	133
1	居住区〔問1〕	133
2	こどもの学年〔問3〕	134
3	回答者〔問2〕	134
4	世帯のこどもの人数・末子の年齢〔問4〕	135
5	家族との同居・近居の状況〔問5〕	136
6	あて名のこどもの子育てや教育を主にしている人〔問7〕	136
II.	こどもの育ちをめぐる環境について	137
1	日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人の状況	137
2	子育てや教育についての相談先	138
III.	保護者の就労状況について	140
1	就労状況	140
2	週当たりの就労日数・1日当たりの就労時間	141
3	就労する保護者が家を出る時間及び帰宅時間	143
4	パート・アルバイト就労者のフルタイムへの転換希望	145

5	無職の保護者の就労希望	146
6	働きたい理由	149
7	現在働いていない理由	149
IV.	放課後の居場所を提供する事業の利用状況と今後の希望について	150
1	放課後の居場所を提供する事業の利用状況	150
2	放課後の居場所を提供する事業の平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休業日の利用頻度と利用時間	150
3	小学4年生以降の放課後の過ごし方	176
V.	病児・病後児の対応について	177
1	こどもが病気等で放課後の居場所を提供する事業に参加できなかった場合の対処方法	177
2	病気のこどものための保育施設などの利用希望	179
3	病気のこどものための保育施設で希望するサービス	180
4	病気のこどものための保育施設を利用したくない理由	180
VI.	不定期な一時預かりについて	181
1	一時預かり等のサービスの利用状況	181
2	こどもを泊りがけで預かるサービスの利用状況	182
VII.	こどもが心身ともに健やかに成長するための取組について	184
1	平日の放課後および休日のこどもの過ごし方	184
2	地域のグループ活動やイベントの参加状況	186
3	地域のグループ活動やイベントに参加していない理由	188
4	こどもにとってさまざまな体験活動に参加しやすい環境か	188
5	「こども 夢・創造プロジェクト」について	189
6	こどもの遊び場に関する満足度	191
7	こどもの遊び場に日ごろ不満に感じること	192
VIII.	子育てに対する意識や仕事と子育ての両立について	193
1	こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるか	193
2	子育ての楽しさや負担感の程度	194
3	子育てに関する悩みや気になること	195
4	子育てに対する地域の人や社会からの支えへの評価	197
5	こどもと一緒に過ごす時間	199
6	1日当たりの家事時間	200
7	仕事と子育てを両立させる上で大変なこと	201
8	仕事と生活の調和が図られていると感じるか	202
9	行政に対して充実を図ってほしい子育てに関する支援策	203
第4章	若者意識調査の結果	205
I.	回答者のプロフィール	205
1	居住区〔問3〕	205
2	性別〔問1〕	206
3	年齢〔問2〕	206
4	職業〔問4〕	207

5	同居者〔問5〕	208
II.	毎日の生活について	210
1	起床時間	210
2	朝食の摂取状況	212
3	就寝時間	213
III.	余暇活動について	215
1	自由な時間を一緒に過ごす相手	215
2	自由な時間を過ごす場所	217
3	自由な時間の過ごし方	219
4	参加している活動	221
5	活動の参加頻度	223
6	活動に参加しない理由	224
7	今後参加したい活動	225
8	体験したことのある活動とプラスになったと感じる活動	227
9	今後参加してみたいこどもの健全育成のための活動	230
IV.	メディア利用について	232
1	情報入手時によく利用するもの	232
2	利用したことのあるインターネットサービス	234
V.	友人関係について	236
1	ふだん一緒に遊んだり連絡することが多い人	236
2	友人との関係	238
VI.	回答者自身について	241
1	社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった経験	241
2	社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった最大の原因	242
3	社会生活や日常生活を円滑に送ることができていなかった理由	243
4	自身のコミュニケーションについて	251
5	家族以外で考え方や感じ方を理解してくれる人の有無	253
6	悩みや心配ごとの有無	254
7	悩みや心配ごとの内容	255
8	悩みや心配ごとの相談相手	257
9	ふだんのからだや気持ち	259
10	役割について期待されていると感じる人	261
11	社会や地域の人のために役に立ちたいと思うか	263
VII.	生き方や人生観について	264
1	大人になったとの自覚	264
2	大人になったと自覚したきっかけ	265
3	大人になることの条件	267
4	自分自身について	269
5	自分がかげがえのない存在だと思うか	271
6	自分自身に誇れるもの	272
7	理想とする生き方について	274
8	将来の夢の有無	276

9	将来の夢を現実にするための努力	277
10	将来の夢のために現在準備していること	278
11	働く目的	280
12	職業に対する考え	282
13	結婚の有無	284
14	今後の結婚意向	285
15	こどもをもつことの意向	286
16	こどもをもちたいと思う理由	287
17	こどもをもちたいと思わない理由	289
18	女性が職業をもつことへの考え	291
VIII.	地域への愛着について	293
1	現在住んでいるところの愛着度	293
2	現在住んでいるところが好きな理由	294
3	現在住んでいるところが好きではない理由	296
4	居住年数	298
5	大阪市の継続居住意向	299
IX.	学校の経験や市の施策について	300
1	学校経験	300
2	こどもの健全育成のために優先して実施すべき施策	302

第1章 調査の概要

1 調査の目的

現行の「大阪市こども・子育て支援計画」が平成31年度末で終了することから、子ども・子育て支援法に基づき、新たな計画策定にあたって、就学前児童の保護者、就学児童の保護者、若者のニーズや意識等を把握するための調査を実施し、計画策定のための基礎資料とすることを目的として実施した。

2 調査方法と回収状況

実施調査	大阪市こども・子育て支援に関するニーズ調査		大阪市次世代育成支援に関する若者意識調査
	就学前児童用	就学児童用	
対象者	市内在住の0～5歳児の保護者 48,000人 (調査票送付数44,116通) ※	市内在住の小学1年生～3年生の保護者12,000人 (調査票送付数11,918通) ※	市内在住の15歳から39歳までの若者5,000人
調査方法	調査対象者に調査票を郵送により配付し、郵送により回収。		調査対象者に調査票を郵送により配布し、郵送及びWEB調査により回収
調査期間	平成30年11月30日～12月21日		平成30年12月7日～平成31年1月11日
回収状況	調査対象数 44,116件 有効回答数 19,739件 有効回答率 44.7%	調査対象数 11,918件 有効回答数 5,359件 有効回答率 45.0%	調査対象数 5,000件 有効回答数 1,126件 有効回答率 22.5%

※きょうだいで抽出された家庭については、複数の調査票が届かないように調査票送付数を調整

3 報告書の見方

(1) アンケート調査結果における各設問の母数n (Number of caseの略) は、設問に対する有効回答者数を意味する。

(2) 複数回答を可能とした設問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。本文中、表やグラフに次にあげるような表示がある場合、複数回答を可能とした設問になる。

- ・ MA% (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
- ・ 3LA% (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つまで選択する場合

(3) 図表では、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢を短縮している場合がある。